2021年6月7日
各位

桑名市市民活動センター

アンケート調査ご協力のお願い

拝啓　貴団体ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

　さて、昨今、テレビ、新聞等でSDGsに関するキャンペーンが行われています。当センターでも今年度の事業の柱としています。登録団体や市民のみなさまに、SDGsについてのご意見をお伺いしたくアンケートを送らせていただきました。
　つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、6月21日（月）までにメール、ＦＡＸ等でご返送願いたく存じます。
　なお、ご回答の内容は、当センター事業の参考とさせていただく以外には使用いたしません。

　ご多用中恐れ入りますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

当センターでは、8月にJICA（独立行政法人国際協力機構）より講師をお招きしての学習会を開催する予定です。
詳細は後日、お知らせします。

当アンケートに関するご質問等がございましたら、下記までご連絡をいただければと存じます。

桑名市市民活動センター
担当　志治
〒511-0068　桑名市中央町３丁目79番地くわなメディアライヴ２階
TEL：0594-24-1184　FAX：0594-24-1735
E-mail：kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp

SDGs に関するアンケート

① SDGs に興味がありますか？

はい　(26)　　・　いいえ(0)

＊まだよくわからないというのが正直な意見です。
＊興味はあるがよくわからない。

○ はいと答えた方に質問です。SDGs に関して、どのようなところに興味がありますか？下記の当てはまる項目に〇をしてください。(複数回答可)

・17 の目標と 169 のターゲット（10）　・企業の取り組み（5）　・市民活動での取り組み　(12)
・行政の取り組み　(5)　・環境問題　(12)　・貧困　(7)　・教育　(11)　・保健衛生　(4)
・ジェンダー（7）　・子ども　(13)　・地域　(11)　・水資源　(1)　・食料危機　(5)
・国連　(3)

② SDGs に関する活動を団体または個人で取り組んでいますか？

はい　（１７）　　・　いいえ　(8)　　無回答　(1)

○ はいと答えた方に質問です。　どのような活動または取り組みを行っていますか？

- 難聴、中途失聴者の情報支援活動の他、社会参画の支援。また社会の理解や関心を深めるための啓発活動。
- 子どもへのあらゆる暴力防止活動を学校や児童養護施設を中心に行っている。学校のカリキュラムとすることで、すべての子どもに伝えることができると考えている。
- DV/デート DV 防止とケア活動。
- ゴミ問題で今学習しています。特に食品ロス、プラゴミ、貧困やジェンダー問題
- 海岸に行ってプラゴミを収集に行きます。
- 健康リスクの早期警告やリスク軽減、管理のための能力を強化する。
- リサイクル遡源の回収及びリユース事業を行っている。
- リユース事業は海外の孤児院への寄付などを行っている。
- 福祉についての啓発活動により差別の解消に力を入れている。

- エネルギーをみんなに(再生可能エネルギーの推進)・気候変動に具体策を(一人ひとりの省エネルギー行動)

- 英語だけが外国語だと思わないよう、気軽にいろんな世界中のことばを口に出して、聞いていろいろな人に会う活動(多言語)をやってきた。子どもたちが大人になった時に、劣等感も優越感もなく、平らに社会で人とつながって欲しいと思いました。

- 防災・減災活動　　出前教室の開催／木造住宅の耐震化実験、家具転倒防止実験、液状化実験、津波発生実験

- 行政と共に企業の安易な容器、農薬開発しない。

- 会社で目標があり、自分たちの仕事等がつながっているという意識を持ち、生活しています。目標３，１３，５、１２，８、１５等。

- 生涯の楽しい遊びが目的です。・自然科学を駆使した最高の遊び、自宅にあるものをリサイクルして使います。

- 臨床美術により、自己肯定感を高める芸術的アプローチを行っています。義務教育の時期に体験できるよう公立小・中学校で講座を開催し始めた。

- 市民と共に環境問題に取り組みながら、資源リサイクル・エコ活動を促進し、地域の清掃活動などを計画している。

- 全国一斉、海の日ブルーサンタゴミ拾…伊勢湾　森・川・海のクリーンアップ大作戦を予定

- 資源物回収ステーションでの分別指導(感染強化対策)

- 地域の伝統文化を伝える活動を行っています。特に子どもたちには、自分の住んでいる地域に誇りを持ってもらい、自分たちにも伝えることができるという自信を持ってもらいたいと思っています。

- 廃油を使ったリサイクル石鹸

- 古い着物を使ったリサイクル商品

- 野菜くずを使ったたい肥作り

- 普段の生活（丁寧に生活すること）が活動に取り組んでいる、結びついていると思うことが結構ある。リサイクルや平和教育など、今までやってきたことにＳＤＧｓと名前がついたようなもの

- 子どもの権利が保障される社会を目指し、妊娠中の母親、乳幼児と保護者、小学生～テイーンズを対象にした活動を行っていますが、子どもを権利の主体ととらえて、活動の内容を作っています。

- 目標 3、「すべての人に健康と福祉を」　不自由な生活をしている人の材料費のみの安価でその人たちに適した自助具をを作って生活支援をしている。目標 12、「作る責任、使う責任」木材、アクリル板、スチールなどの廃材を各会社に頂に行き、リサイクル材料として使用し自助具を作っています。

○その他、SDGs に関して関心があること・質問などがありましたら、下記へご自由にお書きください。

- 日常生活で取り組みやすい様に簡単に理解できたら、子どもの意識も高まり、家庭内で取り組めそう。

- 環境破壊がすべてのような取り上げられ方をされることが多いが、環境問題も地域づくりに関しても、“人”が最も大切にされなければならないと考えています。日本人だけに限らず、グローバルな視点の人権意識を子どもたちに伝えていきたいです。

- 私のように社会にいる者や教育を受けている子どもたち以外はなじみがうすく、きいたことあるような…という印象です。地域(例えば市民活動センター)で取り組むのであれば、市のホームページ等 web も使い、具体例をあげられるとわかりやすいかなと思います。

- 桑名市では小学校や幼児にまで英語教育が浸透してきています。少しずつ何か地域でできることはないかなという気持ちになってきました。

- １７色のピンバッジを準備し、これをつけて活動できる日を待っている。

- 私の技術を先生方や理解のある人に教えることによって広めていける。

- メデイアの報道を知ると、中には日常生活で普段から気をつけていることもあると感じる内容もあります。が、あえて「取り組んでいる」とは言いにくいような当たり前のことのように思っていて、もうひとつはっきり理解できていないのだと思います。これから自分自身がまず勉強し、家族・市民活動へとつなぐことができたらいいと考えます。

- 買い物の際、素材をよく確かめて、プラスティックの使い捨てを減らすよう心掛けるなど、家庭での意識を高める。ごみの量も減り、何度も使えば「物」に愛着がわくなど、昔の生活が戻ってくるような気がしています。

- 広範囲にわたる“持続可能な開発目標”は一般の人には理解理解が難しいと思います。何となく良いことなんだろうな…というのが正直なイメージです。17 の目標の中でも人が人らしく生きるために「貧困」問題には早急に目標を定め取り組んでいかねばならないと思います。最近は「整理の貧困」が度々TV で取り上げられ皆で考え、よい方向に向かっているのではないかと考えます。SDG s が採択された 2015 年には、先にコロナ流行で世界的なダメージを受けるのは想定外で、各国で今、この「貧困」問題が浮き彫りになっています。生きているすべての人が明日への希望が持てるようにできることをひとつひとつ考え、実行していくことが大事だと思います。

- 名古屋で開催された ESD の世界会議には出席いたしました。

- シニアカレッジくわな２０２１の授業の中で講義を聞きたいと思います。

- 具体的な内容はわからないので、広報などで詳しい取り組みが知れたら嬉しいです。

- 最近、メデイアでもよく聞かれる言葉になりましたが、具体的な内容や取り組みの実態などが目に見えていません。身近なところで活動されている実例など知りたいです。テーマが大きく漠然としているので、あまりピンとこないのが現状です。

- SGDs の取り組みは、特に意識して気構えなくても身近なちょっとしたことが入口だということを伝えたい。問題の入口のきっかけが絵本ということなら意識して読んであげたい。SDG s とは何かとということをわかりやすく伝えるべき。

- 特に母子の貧困について民間でできることの他、企業での取り組み、行政の取組について知りたい。

- 市民活動や行政は SDG s に直接かかわるものが多いと思いますが、一般的な企業の活動は SDGs との直接の関係は明確ではないように感じられます。企業よる SDG s の活動について、より詳しく知りたいと思います。

- 自助具のリサイクル材料を提供していただける会社が 2～3 社しかないため、SDG s に興味を持ち、協力していただける会社を教えてほしい。

以上２６通